

SHIRO TORI 通信

Vo.13

2016 autumn

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

この秋、駒ヶ根高原の雄大な
自然の中に古民家結婚式場

「音の葉」OPEN

古民家ウエディング「音の葉」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築NEWS

ドバイで世界一超高層タワーが着工！

アラブ首長国連邦（UAE）のドバイで、完成時点で高さ世界一を目指す超高層ビル「ザ・タワー」が10月に着工しました。ドバイ最大手の不動産会社エマール・プロパティーズがプロジェクトを手掛けています。

同社は現時点で完成時の高さを公表していません。中東諸国等を中心に、建物高さの競い合いが巻き起こっており、最終的に世界一を確保したいという意図が透けて見えます。

建物の設計は、米国・ワールドトレードセンターの交通ハブやドバイ万博の主要施設と



なるUAE館などを手掛けるサンティアゴ・カラトラバ氏が担います。

ザ・タワーの意匠は植物のユリに着想を得て、細長い茎のような中心構造物を外側からケーブルで支える構造を採用しています。外観は、イスラム文化を象徴するモスクに付属した塔のイメージも意識しています。

構造性能は風洞実験などを重ねて確認してきたといいます。風や地震に備え、揺れを吸収するためのダンパーを用いたシステムを組み込む計画だそうです。

ザ・タワーを建設するのは6km²の面積を持つ巨大開発エリアで、近くには歴史的建造物が数多く存在するドバイ・クリーク・ハーバーに位置しています。間近に緑や水辺がある立地も生かし、着工したザ・タワーには360度を眺望できる観光用のデッキや建物外周部を回転するガラス張りのバルコニーを設ける計画です。

このタワーは、2020年のドバイ万博に間に合うように完成を目指す予定です。

城取設計ニュース

相談される設計事務所

早いもので社屋建設をして1年以上が経過し、また1Fカフェエリアも地域の皆様に少しずつではありますが認知されてきました。このカフェをオープンした目的のひとつに、一般の方々に設計事務所をもっと身近な存在で、気軽に相談できる事務所でありたいと考えてオープンさせて頂きました。

徐々ではありますがそんな効果もありまして、カフェのお客さまから声をかけられ相談にのる機会も増えてきました。今までも、「土地の相談」「飲食店開業の相談」「開業資金の相談」「社屋の計画」「庭づくりの提案」とか、また建設業務以外にも「おススメの塾はないか」「司法書士を紹介して欲しい」「〇〇社長を紹介してくれないか」等、多岐にわたり相談を受けております。



「tie (結ぶ)」を名の由来にした「cafetias」には「交流の拠点として多くの人がこの場所をつながり、コミュニティやカルチャーの発信元として実をつけ、大きな木に育って欲しい」との願いを込めました。少しずつではありますがそんな場所に近づいていきたいと思っています。

おススメ

この一冊

「陸王」

池井戸潤（集英社）

走れ。勝利を、信じろ。

足袋作り百年の老舗が、ランニングシューズに挑む

あの「下町ロケット」でも有名な池井戸潤さん待望の最新作が、全国各地の老舗経営者を、奮い立たせています。

埼玉県行田市にある創業百年の老舗足袋業者の「こぼせ屋」。従業員数27人の零細企業が、厳しい状況を何とか打開するべく社運を賭け大きな挑戦に出ます。

本作には大勢の人間が登場します。こぼせ屋を担当する銀行員・坂本と大橋の2人は実にユニークな存在で、足を故障し再起を期す陸上選手・茂木からも目が離せません。何より就活に失敗し、家業の足袋作りを手伝うはめになった宮沢の息子・大地の成長は物語の

大きな読みどころです。「陸王」開発のため招聘された技術顧問・飯山の新規プロジェクトに懸ける執念に触れ、大地もまた「グレイクスルー」を起こします。池井戸ワールドに引き込まれ夢中で読破し、無性に走りたくなるお勧めの一冊です。



池井戸潤 著
定価・本体1,700円+税
発売日・2016年7月8日
形態・四六判(592ページ)

建築探訪

軽井沢千住博美術館

軽井沢千住博美術館は、軽井沢の南のバイパス沿いに2011年にオープンしました。世界的に人気のある現代日本画家、千住博さんの作品を約百点所蔵展示する個人美術館ですが、建築界のノーベル賞「プリツカー賞」受賞の俊英西沢立衛さんの設計による建物とのコラボレーションで素晴らしい景観を演出しています。

千住博さんの意向で、周囲の自然や地形と一体となっている総ガラス張りで床も含めて曲面を多用した建築です。

絵画や建築だけでなく、6万株の樹木や草花による「カラーリーフガーデン」も素晴らしい美しい環境の中で美術館内外を散策しながら至福の時間を過ごせます。



特集

施工事例

創業53年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

プライバシーを 確保しつつ 光庭が明るく 開放的な院内

建築概要
名称:菜の花マタニティクリニック
発注者:鈴木 昭久
所在地:長野県伊那市
構造・階数:S造・2階
延床面積:1,398.64㎡

建物は幹線道路から20mほど入った住宅街、以前は市営青果市場として使われていた敷地に建設されました。入院ベッド数17床の産婦人科診療所で、マタニティヨガ教室や各種研修等を行う多目的ホールを備えています。

院長先生からいただいた要望は、プランの面で産科・婦人科という診療科目の性格上、外部／内部ともに、「各個人のプライバシーの確保に十分配慮したい。特に建物内においては、産科と婦人科のゾーニング等、異なる診療科目の来院者がなるべく視線をあわせることがないようにした」とのことでした。デザインの間では「全体的にシックで落ち着いた和テイストにしたい。」というものでした。

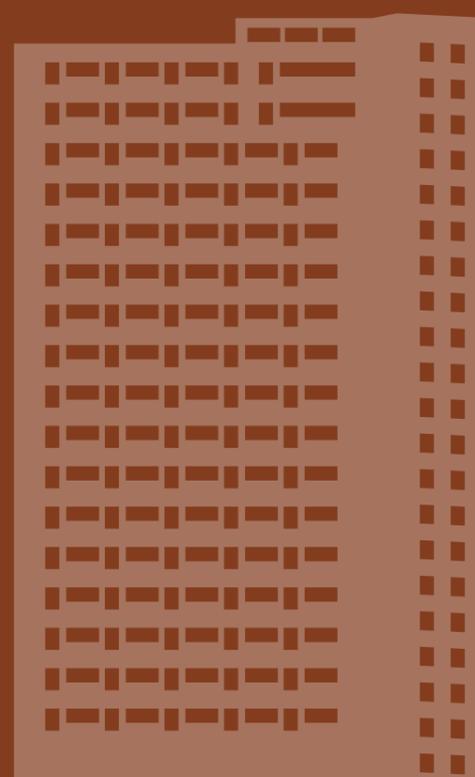
平面には、1・2階を吹き抜ける「大きな光庭（光井戸）」を設けています。

周囲（外部）からのプライバシー確保の点から、建物外周部の開口部を最小限にとどめているため、光庭は、建物内部に自然光をもたらし、通風・換気といった機能と視覚的開放感を与えています。特に1階では、外来待合室や産科中待合室のソファを光庭に向けて配置し、枯山水風にしつらえた庭を眺めて落ち着いた雰囲気でも過ごしてもらおうと共に、患者さん同士の視線を合わない役目も果たしています。インテリアに取り込まれた光庭の景色は、内部空間の和のデザイン要素にもなっています。また外周開口部を限定し、敷地境界から距離をとって建物を配置することで、周辺からのプライバシー確保を図っています。このことから、

敷地境界にはフェンス類（目隠し）を設けていません。前面道路からは建物全体がよく見えるため、プライバシーを確保しつつも、周辺に開かれた明るく開放的な建物の印象を与えています。

空調設備には、建物利用者の多くが（職員さんを含み）女性や新生児であることから、壁面放射による優しく自然な涼しさ・暖かさが特徴の、冷温水による「除湿型放射冷暖房システム」を採用しています。格子状の放熱パネルが和風の意匠との相性もよく、冷房時には格子パネルの表面が結露し、除湿効果が目に見える点も楽しい設備です。また、気流の発生がないため、埃などが舞い上がりず衛生的かつ音も静かで、この建物用途に最も適した空調設備といえます。

1. 光庭 大きな光庭を設け外部からのプライバシーを確保している
2. 1階待合室 共用部どこからも、光庭（自然光）を感じられる
3. 2階ラウンジ ルーバーにより、外部とゆるやかに繋がっている
4. 産科中待合室 光庭によって、明るく開放的な雰囲気となっている
5. 外観全景 縦型ルーバーは、2階ラウンジのプライバシー確保と、西日の遮へいの機能を果たしている





忘新年会はcafé tiesで!!

ties人気のenkaiプランがリニューアル!!3コースの中からお選びいただけます。さらに、アルコールメニューやカフェメニューも豊富で飲み放題も一緒にお楽しみいただけます。これからの時期におすすめの忘新年会コースは鍋をメインに全7品、女子会コースはチーズフォンデュをメインにお野菜もたっぷり、多国籍コースは様々なジャンルのお料理をお楽しみいただけます。まずはお気軽にご相談を。



カフェタイズ
伊那市西町5863-1
www.cafeties.com

営業時間
月～木 11:00～18:00
金 日 11:00～22:00
土 日 10:00～22:00
日 10:00～20:00

実録 地元のチカラ この街の企業



この秋、駒ヶ根高原に古民家ウエディング「音の葉」がオープンします。
川のせせらぎが聞こえるその場所は、高原の雄大な自然に囲まれた豊かな木々の香りと野鳥のさえずりを風が運ぶ二人だけの空間です。茅葺屋根の門をくぐり、広が



る日本庭園の先にある、約160年前の造りが残る古民家は、民芸資料館として使われていた建物を結婚式場として新たに改装されました。古民家ならではの太い梁や柱を残し、高く開放感溢れる天井最大80人程度まで収容できる披露宴スペースからは、春は桜、夏

この秋、駒ヶ根高原の大自然の中に古民家結婚式場「音の葉」OPEN

駒ヶ根高原 古民家
ウエディング「音の葉」
(駒ヶ根市赤穂)



は新緑、秋は紅葉、冬は雪化粧、四季を通して様々な彩りのある美しい庭園が眺められ、ゆったりと流れる時間の中でひっそりと佇む伝統的な日本家屋は安らぎをほこび、特別な時間を過ごす事ができます。
ホテルの式場やゲストハウスといった定番の式場ではなく、「他の人と違うこだわり」を感じられるウエディングがしたい方は、是非「古民家ウエディング」という選択肢も検討されてみてはいかがでしょうか。きっとお二人の素敵な記念日になるはずです。

営業コラム



2009年に起ち上げました「伊駒考動倶楽部」は、伊那谷の30～40代の意欲ある青年経営者、経営者候補が集まり、切磋琢磨しながら、経営の在り方を学ぶ勉強会です。
そんな勉強会も7年経過し9月で60回を迎えるまでとなりました。これまで招いた講師はさまざま、経営コンサルタント、税理士、第一線で活躍するプロフェッショナルな方々、地元経営者の先輩、経営者の仲間など多岐にわたりお呼びさせていただきました。60回という事もあり私が壇上に立ち「考動してきて見えてきた現実、私の20年間」という内容で、伊那市長であった三澤家の跡取りとして育った私が城取家に婿入りし、他業種である設計事務所の経営をしていく



あたたかい結婚式になるように

「株式会社ファストレーンプロダクション」の取締役も務める佐々木さん。完全オリジナルのプライダル映像に拘り、県内外のプライダルムービーを数多く手がけてきました。この秋「駒ヶ根高原古民家ウエディング音の葉」をオープン！プライダルを通じて幸せを運ぶ為、日々精進。とされていました。



株式会社 イノベートデザイン
長野県駒ヶ根市赤穂759-16
TEL:0265-95-1808
URL:http://kominka-otonoha.com/

社長の横顔
佐々木宗一

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます

事前打ち合わせ

設計業務

監理業務

費用は掛かりません



株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(上伊) J 第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会
(社) 長野県建築士会

■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社

長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

